

APT



京都 YWCA

APT ニュースレター

2025 年 12 月発行



No. 129



Asian People Together

Contents

- 「コムスタカ-外国人と共に生きる会」 40 周年記念講演会 1
- ケース報告 「新しい生活をフォローすること」 2
- 東九条マダン 2
- 四コマ漫画 ●リレートーク #3 3
- 2025 年 8 月～11 月活動報告 ●編集後記 4

「コムスタカ-外国人と共に生きる会」 40 周年記念講演会

10 月 5 日 @ 熊本市国際交流会館

「コムスタカ-外国人と共に生きる会」は 1985 年に「滞日アジア女性の問題を考える会」として熊本で発足し、1993 年に現在の名称に変更されている。

最初に医療法人聖粒会慈恵病院理事長兼院長の蓮田健さんから「異国の地で孤立する妊婦さんたち～産婦人科から見える世界～」というお話をいただいた。

慈恵病院で当時病院長を務めていた蓮田健さんのお父さんの蓮田太二さんが、親が育てられない赤ちゃんを匿名で受け入れる施設「このとりのゆりかご」を 2007 年 10 月に創設し、現在は健さんが運営されている。

望まない妊娠を誰にも相談できず、結果赤ちゃんの遺棄や殺人に繋がってしまうことが年間 20～30 件あり、特に東京が多い。この赤ちゃんポストには、年間 10～20 件の赤ちゃんがやってくる。それら母親の多くは、親に知られると縁を切られたり、見放されたりする、また親にこれ以上心配をかけたくないことなどを理由としており、自身の生育歴の中で虐待をされてきた人が多いとのことであった。日本では、予期せぬ妊娠をした女性に対して、責任と努力を求める空気がある。この慈恵病院では基督教の愛と献身の精神を信条としていて、基督教は社会正義、福祉、格差問題、弱者救済などの分野で力を発揮でき、赤ちゃんが亡くなってしまう前に何とかしたいとの思いがこの取り組みの柱となっている。

次に「コムスタカ-外国人と共に生きる会」の事務局長の佐久間順子さんから「妊娠出産

の相談と取り組み」について 2024 年の相談の統計が報告され、いくつかの事例を挙げて、技能実習生の妊娠後の経過が説明された。外国人女性が日本で安心安全に出産するための外国人労働者の受け入れ制度の見直し、孤立出産への支援のガイドライン作りなど、問題解決の取り組みについていくつかの具体的な提案がされた。

最後に代表の中島眞一郎さんからコムスタカ 40 年の歩みと相談関係者からの報告があった。コムスタカはフィリピン語で「元気ですか?」という意味である。元々は 40 年前、熊本の手取カトリック教会の司祭ポール・マッカーティン神父一人での活動から始まり、のちにもう一人の神父と日本人が加わったということである。

1985 年 9 月 27 日に 150 名が参加して結成集會が行われ、会の広報、教会での茶話会、日本語教室など様々な形で在日外国人のサポートをしたことをはじめ、移住女性や外国人労働問題の集會やワークショップも開催された事が紹介された。

また、日本で死産、死体遺棄で起訴されたベトナム人技能実習生リンさんのケースでは、最高裁判所逆転無罪判決が下されたことを紹介するとともに、2025 年 10 月現在係争中のコムスタカの訴訟支援事例も具体的に示された。

最後に、支援を受けた数名の女性が、自分が受けた支援について話され、40 周年を迎えたことにお祝いの言葉を述べられて、温かな雰囲気の中、記念講演会は幕を閉じた。

(H.K)

(ケース報告)

新しい生活をフォローすること

Aさんは当初、なかなか対応の難しいDV被害者でした。似たような例は少なくありませんが、外傷まで負うほどのDVを受けながら、やはり僅かでも希望を託すのか、せっかく保護されたシェルターから自宅に戻ってしまうのです。それも複数回。

APTでは、そういう行動があっても何度でも相談に乗り、シェルター入所の支援をします。彼女も何度目かのシェルター保護の後、かなり長く紛糾した調停を経て、最終的にほぼ希望通りの条件で離婚に至ることができました。

ただそれだけでは終わりませんでした。離婚した後でも日本に残って仕事をしたいと希望する当事者は多いのですが、そのためには在留資格を「配偶者」から他の資格に変更しなければなりません。彼女の場合日本人配偶者との間に子どもがいなかったため「日本国籍者の親権者」

という「定住者」条件には当てはまりません。また、事実上の婚姻期間も決して長くはなかったため、その点からもなかなか厳しいものでありました。

しかし彼女は調停の期間中から熱心にハローワークへ通い、雇用条件こそ非常勤ですが、ほぼ常勤並みに仕事を頑張り、当初受給していた生活保護からも早々と自立しました。こんな事実が手伝ったのか、めでたく「定住者」の在留資格が降りたのです。

そして今もコツコツと働きながら、旅行など余暇を楽しめるようになりつつあります。彼女が数年前には想像もつかなかったほどの微笑を浮かべながらそんな写真を見せてくれる時、DV被害者の被る様々な後遺症を乗り越えながら、精神的な強さを育てていったことが実感できるケースでした。(O.R)

東九条マダン



11月2日(日)、今年も東九条マダンに参加し、タイカレーやコーヒーを売りました。東九条マダン(마당: ハングル語)なのにタイカレー?と思われるかもしれませんが、ここには朝鮮半島にとどまらない幅広い「多文化」があります。

出店している食べ物や雑貨のお店もそうですが、ステージでもプンムルノリ(품물놀이)などだけでなく、地元の学校の吹奏楽や和太鼓の音、ボブ・マーリーの“No woman, no cry”も聞こえてきたりします。市バスも展示されていて、子どもたちは市バスに乗ったり、模型のバスの運転手になったりもできます。車椅子を体験できるコーナーもあり、そこで、薬物依存症から回復を支援する施設に関わる人との出会いもありました。

私たちのメンバーの一人である社会福祉専攻の学生は、「ここには大学で習う福祉のあらゆるものが詰まっている」と言っていました。だからこそ、東九条マダンは33回も地域に根付いて続けてこられているのだ、と改めて感じた一日でした。(A.I)



京都YWCA 多文化共生委員会
タイカレーとコーヒー販売



市バスコーナー



車椅子体験コーナー

～ハイ、APT です！～



リレートーク #3



みなさんは「戒壇（かいだん）巡り」というのをご存知でしょうか？あちこちのお寺にあるらしいのですが、有名なところでは長野県の善光寺があります。私は琵琶湖北部の木之本にある地藏院というお寺で体験しました。説明書きには「これまでの自分自身を省みて積み重ねた罪障を取り除くための精神修養の道場です。御本尊の御厨子の下を巡る長さ三十一間の回廊は真の闇で、その漆黒の世界を一步一步静かに進んで下さい。」とあります。

最初に体験したのは一年ほど前です。その時はそっかしくも何なのか全く知らずに、説明書きもすっ飛ばして、矢印で入り口とあるままに進み入ってしまいました。そしていきなりの真っ暗闇にびっくり。いくら目を凝らして見ても何も見えないので、ものすごく恐怖を感じました。しかし、はたと「どうせ見えないのなら目をつぶれば？」と思い目を閉じると、すっと気持ちが落ち着いたのです。そのあとはまるで「無の境地」で進むことができました。

そして先日二回目を体験しました。しかし、一度目のような心の平穏を得られなかったのです。なぜか？考えるに、一度目は「恐怖」から「平穏」の落差が関係していたのではないかとそれに引き換え二度目は、「もうわかっている、落ち着いていけるはずだ」とある意味たかを括っていたのではないかと。なんと不思議な、その時その時の心のありようがそのまま反映される「鏡の間」のような空間だと思いました。これはなかなか奥深く興味深い体験です。おすすめいたします。(G.S)



訂正とお詫び

APT ニュースレターNo.128 号掲載の四コマ漫画『～ハイ、APT です！～』の中で、四コマ目の1行目「一九五八年」となっていますのは、「一九八五年」の誤りです。大変申し訳ありません。お詫びして訂正いたします。

活 動 報 告

2025 年 8 月 1 日

～2025 年 11 月 30 日

相談対応集計

分類	項目	8 月	9 月	10 月	11 月	延数
相談 対応数	継続	63	50	58	51	222
	新規	6	4	2	3	15
相談 対応 方法	電話	18	22	17	17	74
	SNS	30	16	14	2	62
	メール	8	8	22	6	44
	来所	4	3	4	3	14
	同行	6	3	1	1	11
	訪問	2	1	0	0	3
	FAX	0	0	1	1	2
	郵送	0	0	0	0	0
	通訳	1	0	0	0	1
	翻訳	1	0	0	0	1
	配達	0	1	0	0	1
	手紙	0	0	0	1	1
通訳 派遣	京都市	12	10	12	13	47
	京都府	1	0	0	0	1
	他機関	1	1	0	0	2

新規相談件数（計 15 件）

●国籍

フィリピン 6/カンボジア 2/イギリス, ブラジル, 韓国
中国, スイス, 日本, 不明 各 1

●性別 女性 11/不明 3/男性 1

●居住地

京都 7/滋賀 3/不明 2/イギリス, 神戸, 大阪 各 1

●内容（重複回答あり）DV, 子ども, 生活 各 3/通訳
労働 各 2/年金, 母親, ペット, 家探し, 交友関係, 国籍
カウンセリング, 生活保護, 生活困窮, 結婚 各 1

編*集*後*記

APT でボランティアを始めてちょうど 1 年が
経った。様々なケースに関わる上で、ベテラ
ン APT メンバーの冷静さや知識量に圧倒され
ながら日々充実した時間を過ごしている。

また、個人的に、部屋に入った時のアット
ホームな温かい雰囲気大好きだ。その温か
さに包まれながら、今日も APT で学びを深め
る。(M.H)

- 8/27 政策提言シンポジウム「多文化多言語の子ども
の学びの保障—公正な教育の実現に向けて」@
大阪大学箕面キャンパス
- 9/2 京都市ヒアリング「多文化共生に関する意
識・実態調査」
- 9/5 きょうと外国人支援ネットワーク定例会
- 9/11 リコン・アラートオンライン mtg
- 9/17 京都市ケアラー支援推進協議会意見交換会
@バザールカフェ
- 9/20 APTmtg
- 9/26 外国人生活相談員意見交換会（府国際センタ
ー主催）@京都テルサ
- 9/30 移住連オンライン連続入門講座
「日本における人種差別の現状と課題—ヘイト
スピーチ、ヘイトクライムを中心に—」
- 10/2 配偶者等からの暴力に関するネットワーク京
都協議会代表者会議
- 10/5 「コムスタカ-外国人と共に生きる会」発足 40
周年記念会オンライン参加
- 10/7 多文化共生委員会
- 10/12 多文化こどもプログラム BBQ@まつたけ山復活
させ隊ベースキャンプ
- 10/18 APTmtg
- 11/2 東九条マダン出店
- 11/7 男性相談人材育成講座@ウィングス京都
- 11/11 リコンアラートオンライン mtg
多文化共生委員会
「つくろう！ヘイトスピーチ禁止条例集会」@同志社
大学
- 11/15 APTmtg
- 11/21 きょうと外国人支援ネットワーク定例会
- 11/25 移住連オンライン連続入門講座「技能実習生
支援の 30 年を振り返る」
- 11/27 滋賀県こども家庭支援課相談員研修
「困難な問題を抱える女性への支援—多言語相
談の視点から—」 出講
- 11/28 リコンアラート主催 領事館向け無断離婚を
はじめとした日本の離婚制度セミナー

京都 YWCA・APT



京都 YWCA はキリスト教を基盤に世界中の女性が言語や文化の壁を超えて力を合わせ、女性
の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際 NGO です。
京都 YWCA・APT は京都 YWCA 内で、多文化共生社会の実現を求めて外国籍住民のための支援
プログラムを展開しているグループです。

相談は電話 075-451-6522

月曜日：13:00～16:00、木曜日：15:00～18:00

メール apt@kyoto.ywca.or.jp

